

筑紫女学園は、仏教特に浄土真宗の教えを建学の精神とし、「自律」、「和平」、「感恩」を校訓として掲げ、限りない〈いのち〉への目覚めをうながし、社会の中で自己を実現する人の育成を通して、新しい時代を創造することを基本理念としています。

筑紫女学園大学は、学生が本学での学生生活を通じて、人生を深く豊かに生き抜く力を身に付け、自立し女性を育成することを教育目標としています。

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学では、次のとおり教育課程編成・実施の方針を定めています。

### （教育課程の編成）

本学の教育課程は、本学の「DP（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与の方針）」に掲げる人材を養成するために、全学生を対象に開講する「全学共通科目」及び学部や学科の学びの特色によって配置された「学科等の専攻科目」により体系的に編成しています。

教育課程の編成を踏まえ、学生が適切な履修計画を立てることができるように、「カリキュラム・マップ」（DP と各授業科目がどのように関連しているのかを明示したもの）を作成しています。

### （教育の実施・教育方法）

各授業科目はそれぞれの授業内容にあった受講人数を考慮したクラス編成としています。また、各授業科目において学生が主体的かつ能動的に、時には協働して学ぶことを支援しています。

授業形態には「講義」、「演習」、「実習」、「実技」があり、それぞれに適正な授業時間と授業外学修を定めています。授業形態や単位修得に必要な学修時間については、学則に定め、学生便覧やシラバスに明記することにより、それぞれの形態にあった十分な学修時間の確保を促しています。

各授業科目では定められた「到達目標」とその達成に向けた授業内容を授業計画とともにシラバスに明記することで、学生の目的意識の喚起と学修計画の一助としています。

### （学修成果の評価の方針）

本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）を達成するために編成した教育課程は、「カリキュラム・マップ」及び「シラバス」により、DP と各授業科目がどのように関連しているのか、科目を履修することによってどのような力を身に付けることができるのかを明示し、各科目の到達目標を予め設定しています。

それらは、全て成績評価基準と併せてシラバスに明示し、厳格な成績評価を行います。また、学生が十分な学修時間を確保し、学びの質を高めるために履修登録単位 上限（CAP 制）を導入しています。

### （教育内容の点検・改善）

教育課程全体の順次性や体系性を可視化した「カリキュラム・マップ」を作成したうえで、全ての授業科目において授業の目的や到達目標、身に付けることができる力を明示した「シラバス」を作成し、学生がそれぞれの学修計画に沿った履修ができるようにしています。全ての授業科目は「シラバス」に基づいて行われ、「学生による授業評価アンケート」及び「学生によるDP自己評価」を実施することにより点検・教育改善に活かします。